

# 岡安証券

## ～注目・外株銘柄～

### (2024年8月)

#### 【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2024年7月30日現在)

##### <新規>

- P1【半導体】 KLA(KLAC)
- P2【セキュリティ】 パロアルト・ネットワークス(PANW)
- P3【エネルギー】 キンダー・モルガン(KMI)

##### <継続>

- P4【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)
- P5【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)
- P6【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)
- P7【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)
- P8【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
- P9【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)
- P10【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)
- P11【製薬大手】 イーライ・リリー(LLY)
- P12【医薬バイオ】 アムジェン(AMGN)
- P13【半導体設計】 アーム・ホールディングスADR(ARM)
- P14【半導体】 台湾セミコンダクターADR(TSM)
- P15【半導体】 ブロードコム(AVGO)
- P16【半導体】 マイクロン・テクノロジー(MU)
- P17【半導体】 クアルコム(QCOM)
- P18【SaaS系企業】 サービスナウ(NOW)
- P19【ITサービス】 IBM(IBM)
- P20【動画配信】 ネットフリックス(NFLX)

##### <新規>

- 半導体製造装置(前工程)大手
- 次世代ファイアウォール大手・統合型サイバーセキュリティ企業
- 北米最大級の天然ガス等のパイプライン運営企業

##### <継続>

- 時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
- ソフトウェア世界最大手
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- インターネット検索世界最大手
- インターネット小売世界最大手
- SNS運営世界最大手
- 米電気自動車(EV)大手
- 肥満症薬で注目される米製薬大手
- NYダウ採用のバイオ医薬品メーカー
- 省エネ型の半導体設計技術を提供
- 半導体受託製造の世界最大手
- 企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
- 米半導体メモリ大手
- 携帯電話向け半導体最大手
- 業務自動化クラウド企業
- 連続増配実績を持つIT業界の老舗企業
- 動画配信の世界最大手

半導体製造装置(前工程)大手、半導体の微細・精密化による検査需要拡大で恩恵

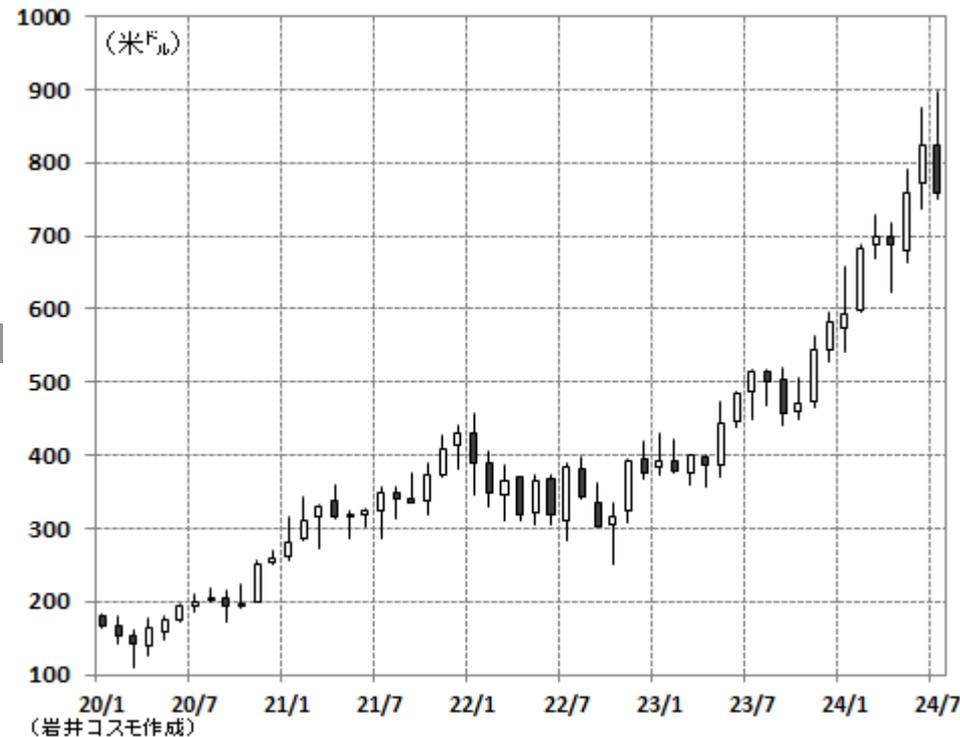
会社概要

半導体製造前工程の検査装置大手。半導体や小型電子機器向けに検査装置や歩留まり解析システムを製造・販売。半導体プロセス・コントロール(SPC)部門の売上が売上高全体の9割を占め、検査装置/計量装置/データ分析装置及び、関連サービスを半導体メカに提供。1975年創業、1997年に同業テノールと経営統合、2019年にイスラエルの同業オルホテックを買収。競合先に日本のレーザテックがある。

注目ポイント

□ **業界団体は市場拡大を予測**: SEMI(世界半導体製造装置材料協会)では、24年7月にDRAM関連投資が大幅に伸びること等を理由に24-25年の半導体製造装置市場の予測値を1,095億ドル、1,276億ドルと従来から増額修正、過去最高を更新する見込み。

□ **微細化・複雑化で需要増**: 先端半導体の回路線幅が2ナノメートル世代へ微細・精密化するのに伴い、同社では測定装置や欠陥検査装置、先端パッケージング装置の売上拡大が見込まれる。24年4-6月期のSPC部門売上高は前年同期比10%増と好調。会社側はAI需要の拡大は会社想定以上のペースで進展しているとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	758.89 ( 07/30 )
52週高値(日付)	896.32 ( 24/07/11 )
52週安値(日付)	440.15 ( 23/09/27 )
時価総額	1,022億ドル 15兆6,096億円
株価変化率(%)	27.5 (過去6ヶ月間) 48.5 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	31.8 (倍)
株価売上高比率	10.5 (倍)
PBR	30.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.76 (直近年率)
配当成長率(%)	8.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	87.8 (%)
株式ベータ	1.43 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/06	10,496	14	3,789	9	3,387	2	24.15	5.20
2024/06	9,812	-7	3,190	-16	2,762	-18	20.28	5.65

四半期業績

決算期	売上高	前同比	税引前利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	2,355	—	776	—	685	—	4.97	1.30
2024/Q4	2,569	9	945	22	836	22	6.18	1.45

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

次世代ファイアウォール機器専門大手、統合型セキュリティ企業として存在感増す

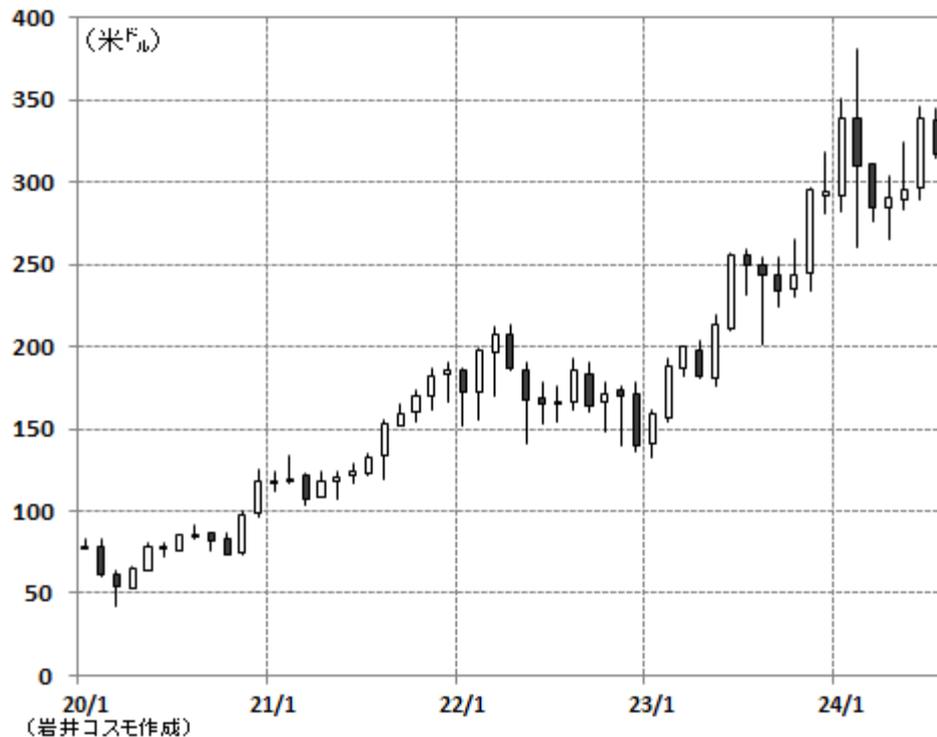
会社概要

2005年設立の「次世代ファイアウォール」機器の専門大手。高度なソフトウェアが組み込まれた製品は、インターネット・セキュリティ上の「ファイアウォール（防火壁）」となり、外部ネットワークからの攻撃や不正なアクセスに対して自分達のネットワークやコンピュータを防御する役割を担う。次世代ファイアウォールの特徴は包括的なセキュリティ対策を高速処理で行う点にある。M&Aにも長け業容拡大、本社はカリフォルニア州サンタクララ。

注目ポイント

□ **統合型セキュリティ企業としての強み**：全世界で6万団体超の顧客を抱え、日本ではインターネットイニシアティブ/サイバーエージェント/KDDI/東京大学等に導入実績あり。外からの攻撃を守るファイアウォールや最終端末防御、クラウド保護など幅広く網羅する統合型サービスが強み。無駄なIT支出抑制とセキュリティ環境の構築を両立したい企業ニーズを取り込み、従来型セキュリティ企業から市場シェアを奪取してきた。

□ **無料販促でシェア拡大戦略**：今期、移管の販促の無料キャンペーン強化しシェア拡大戦略を推進。2030年度に次世代セキュリティの年間経常収益150億ドル(24年4月時点：約38億ドル)という目標を掲げ、業界専門トップ企業ながら更なる飛躍を目指している。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	317.51 ( 07/30 )
52週高値(日付)	380.84 ( 24/02/09 )
52週安値(日付)	201.17 ( 23/08/18 )
時価総額	1,028億ドル 15兆7,062億円
株価変化率(%)	-8.2 (過去6ヶ月間) 27.8 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	125.8 (倍)
株価売上高比率	12.8 (倍)
PBR	23.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	85.9 (%)
株式ベータ	1.18 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/07	5,502	29	-189	赤継	-267	赤継	-0.90	0.00
2023/07	6,893	25	387	黒転	440	黒転	1.28	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q3	1,721	—	79	—	108	—	0.31	0.00
2024/Q3	1,985	15	177	2.2倍	279	2.6倍	0.79	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

天然ガス等のパイプライン運営企業、トランプ氏の政策の恩恵享受か

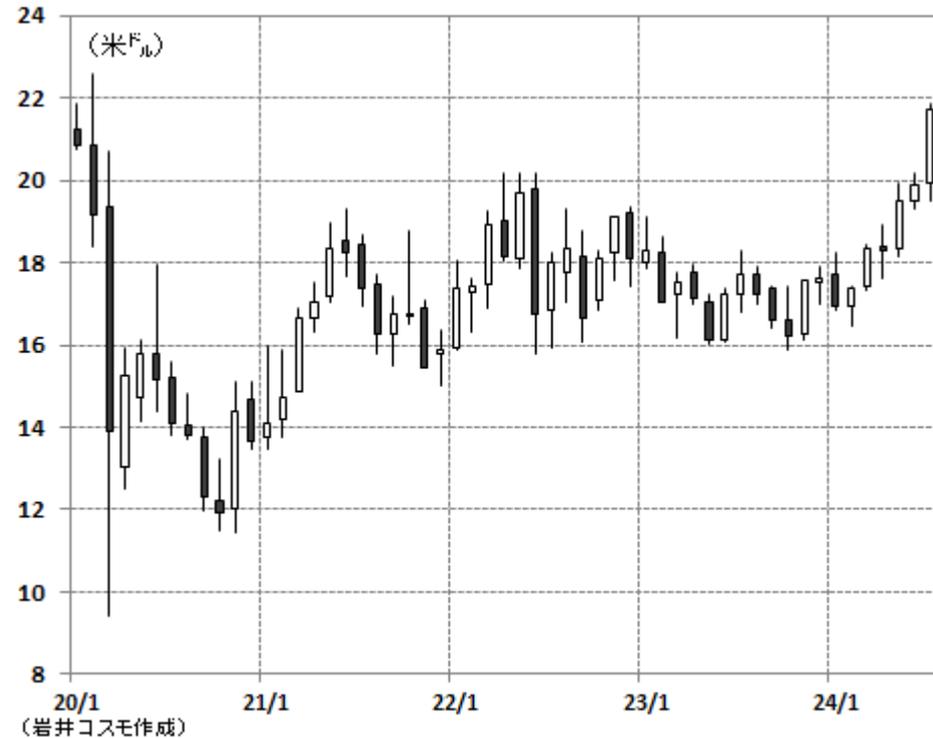
会社概要

北米最大級のエネルギー・インフラ企業。収入の約6~7割を天然ガス用パイプラインの運営から得る。他石油化学製品のパイプライン運営、貯蔵用施設の管理等、中流事業に従事。23年末時点で総延長4.4万マイル(約7万km)のパイプラインを保有。コスト抑制・安全操業・環境配慮の同時実現しながら株主価値を高め、株主還元することを標榜。本社はテキサス州ヒューストン、従業員数は10,891人(23年末時点)。

注目ポイント

□**天然ガス需要増を楽観視**: 天然ガス価格は低迷するが、会社側はAIの運用やデータセンター向けの電力源として天然ガス需要が高まっていると楽観視。天然ガス・パイプラインの需要は増加基調を辿り、2030年にかけてLNG輸出需要が現行水準から2倍に増え、メキシコ向け輸出も50%超増加すると予測。6月末時点のプロジェク受注残は3月末の33億ドルから53億ドルに急増した。

□**トランプ氏の政策で恩恵享受**: トランプ前大統領は掘削許可プロセスを緩和、天然ガス・パイプラインの新設を奨励、化石燃料の生産量を増やすことを目指している。同社にとってトランプ氏の大統領返り咲きは、規制緩和を通じて事業拡大しやすくなることが期待される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	21.72 ( 07/30 )
52週高値(日付)	21.86 ( 24/07/22 )
52週安値(日付)	15.895 ( 23/10/04 )
時価総額	482億ドル 7兆3,645億円
株価変化率(%)	26.2 (過去6ヶ月間) 23.6 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	20.7 (倍)
株価売上高比率	3.1 (倍)
PBR	1.6 (倍)
税前配当利回り(%)	5.29 (直近年率)
配当成長率(%)	1.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.0 (%)
株式ベータ	0.68 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	19,200	16	4,065	39	2,548	43	1.12	1.11
2023/12	15,334	-20	4,263	5	2,391	-6	1.06	1.13

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q2	3,501	—	1,030	—	586	—	0.26	0.2825
2024/Q2	3,572	2	1,038	1	575	-2	0.26	0.2875

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AIに欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

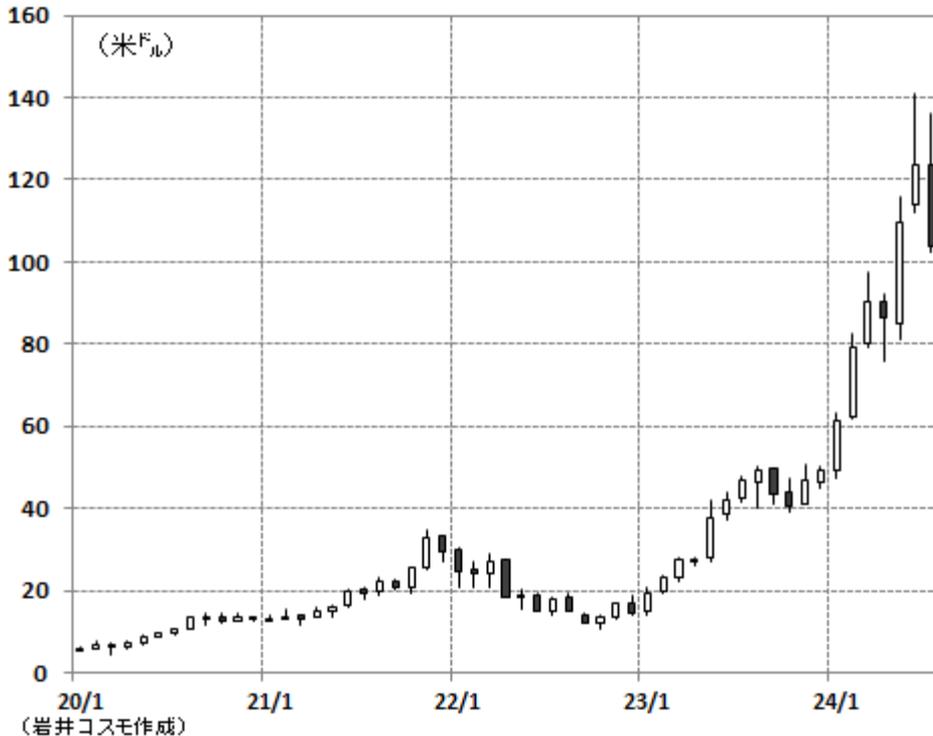
会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが78%、ゲーム市場向けが17%、視覚化技術に関するプロ向けが3%、自動車向けが2%、OEM&IPが0.5%(24年1月期)。

注目ポイント

□ **AI半導体で主導権を握る**: 人工知能の計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算の開発環境やGPUと共に動くCPU、人型ロボットの基盤モデル等も開発。創薬支援等多くの企業と提携、AIで主導権を握りつつある。

□ **「ブラックウェル」の後は「ルービン」**: 6月の台湾IT見本市の基調講演でジェンスファンCEOが次世代GPU名称を「ルービン(暗黒物質の発見者ベラ・ルービン氏に因む)」と発表。今後の製品スケジュールは「ブラックウェル(24年)\*ゲーム理論提唱の数学者名が由来」、「ブラックウェル・ウルトラ(25年)」、「ルービン(26年)」、「ルービン・ウルトラ(27年)」となる見込み。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	103.73 ( 07/30 )
52週高値(日付)	140.76 ( 24/06/20 )
52週安値(日付)	39.235 ( 23/10/31 )
時価総額	2兆5,518億ドル 389兆8321億円
株価変化率(%)	65.2 (過去6ヶ月間) 121.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	60.4 (倍)
株価売上高比率	32.1 (倍)
PBR	52.2 (倍)
税前提当利回り(%)	0.04 (直近年率)
配当成長率(%)	37.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	115.7 (%)
株式ベータ	1.65 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	1.74	0.16
2024/01	60,922	126	32,972	8倍	29,760	7倍	11.93	0.16

四半期業績

2024/Q1	7,192	—	2,140	—	2,043	—	0.82	0.04
2025/Q1	26,044	3.6倍	16,909	7.9倍	14,881	7.3倍	5.98	0.04

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

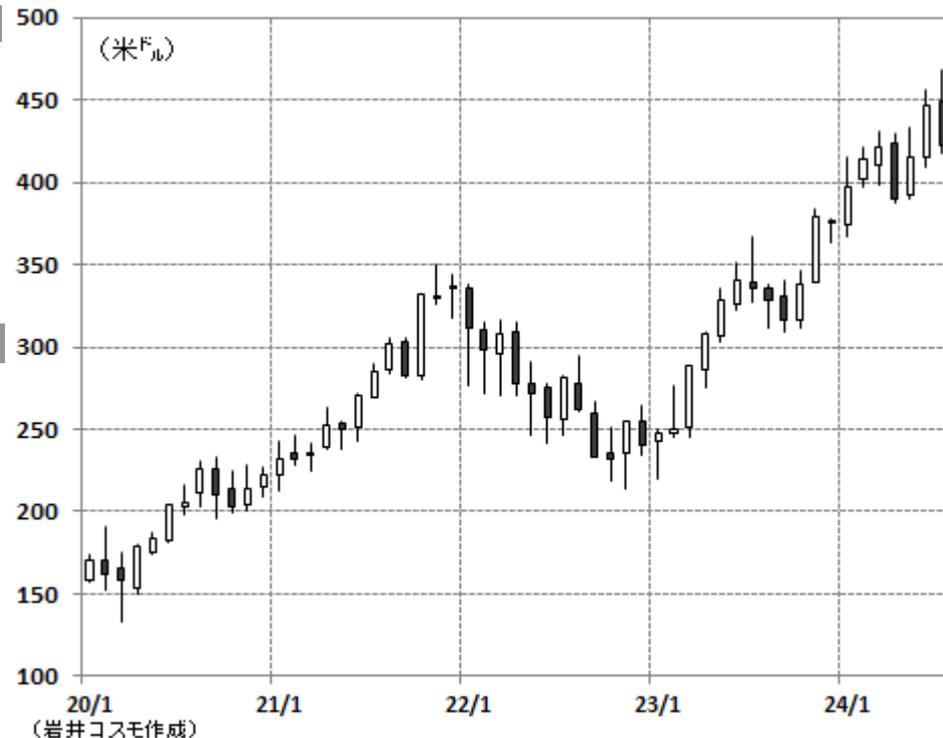
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理等のクラウド「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役である。

□ **サポート生成AIが実装・収益貢献**: 23年9月更新の「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスが開始された。出資先のオープンAIの技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。4-6月期の「アジュール」の増収率29%のうち、8ポイントはAIサービスによるもので、寄与度が前四半期の7ポイントから拡大。会社側は今25年6月通期も2桁台の増収・営業増益を見込んでいる。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	422.92 ( 07/30 )
52週高値(日付)	468.33 ( 24/07/05 )
52週安値(日付)	309.49 ( 23/09/28 )
時価総額	3兆1,436億ドル 480兆2448億円
株価変化率(%)	3.5 (過去6ヶ月間) 25.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	35.7 (倍)
株価売上高比率	12.8 (倍)
PBR	11.7 (倍)
税前提当利回り(%)	0.71 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	10.2 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	37.1 (%)
株式ベータ	1.09 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.68	2.72
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q4	56,189	—	24,254	—	20,081	—	2.69	0.68
2024/Q4	64,727	15	27,925	15	22,036	10	2.95	0.75

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

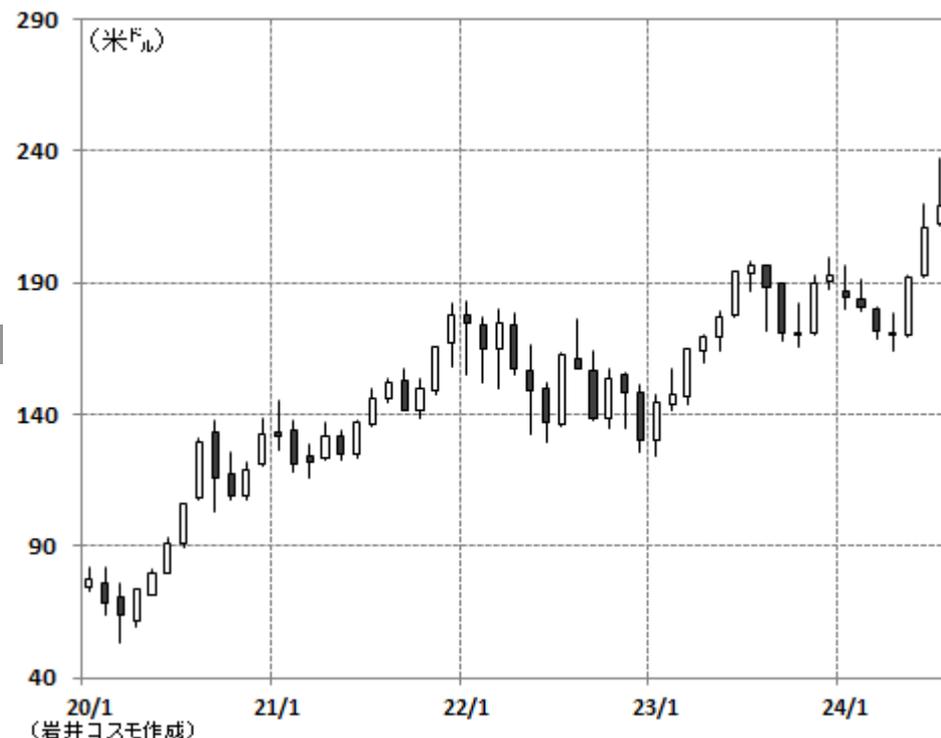
会社概要

スマートフォン(スマホ)「 아이폰 」や、タブレットPC「 アイパッド 」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **4-6月期売上見通しは「1桁前半の伸び」**：1-3月期は前年同期比4%減収、2%最終増益。 아이폰 販売の低調を音楽・映像・データ保管等のサービスの伸びで補った。株主還元では4%増配と米史上最大規模となる1,100億ドルの自社株買い計画も発表。4-6月期売上見通しは同1桁前半の伸び、サービスとアイパッドが2桁伸びの見込み。

□ **次世代 아이폰 の期待高まる**：6月に年次開発者会議を開催。オープンAIと提携し、Chat GPTと基本ソフト「 iOS18 」が統合、テキストの生成/校正、画像の生成、音声AIのSiri機能改善が備わった独自のAI「アップル・インテリジェンス」が今秋開始となる(英語のみ)。例年9月に発表される次世代 아이폰 への期待が高まること予想される。



株価データ	
株価(米ドル)	218.8 ( 07/30 )
52週高値(日付)	237.23 ( 24/07/15 )
52週安値(日付)	164.08 ( 24/04/19 )
時価総額	3兆3,551億 <sup>ドル</sup> 512兆5582億円
株価変化率(%)	16.4 (過去6ヶ月間) 11.7 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	34.0 (倍)
株価売上高比率	8.9 (倍)
PBR	45.2 (倍)
税前配当利回り(%)	0.46 (直近年率)
配当成長率(%)	4.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	147.2 (%)
株式ベータ	1.14 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	1株利益 ( <sup>ドル</sup> )	配当 ( <sup>ドル</sup> )
2022/09	394,328	8	119,437	10	99,803	5	6.11	0.900
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.940
四半期業績								
2023/Q2	94,836	—	28,318	—	24,160	—	1.52	0.230
2024/Q2	90,753	-4	27,900	-1	23,636	-2	1.53	0.240

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

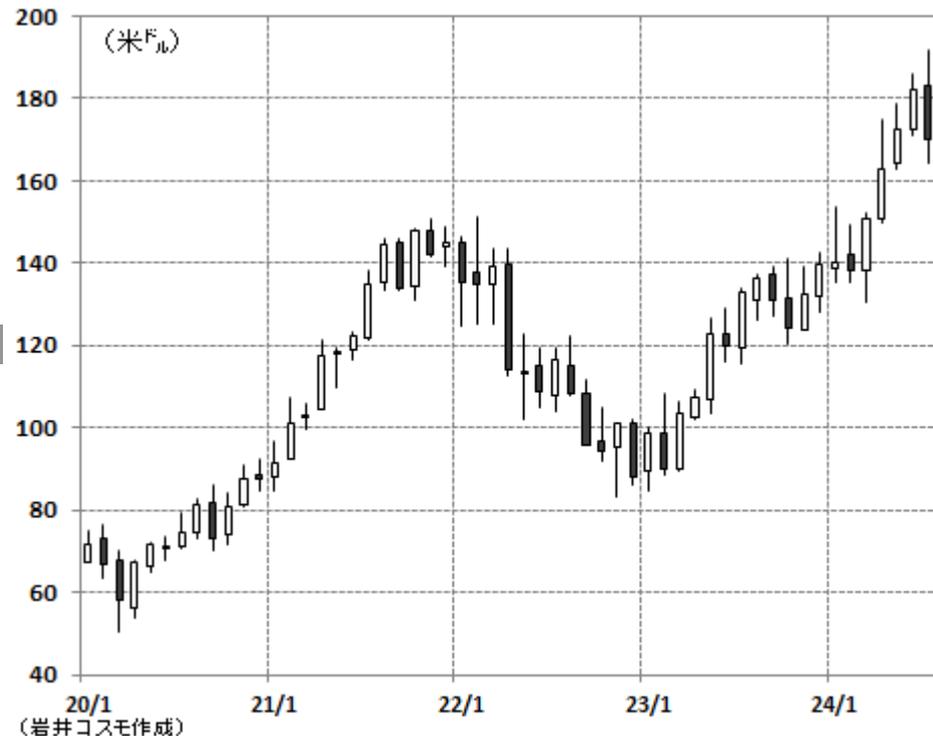
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロムブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は179,582人(24年6月末)。

注目ポイント

□ **クラウド事業が拡大、ユーチューブが低調**：4-6月期決算はユーチューブ広告の成長鈍化が見られたが広告収入全体は2桁成長を維持。生成AI製品の実装が進むクラウド部門は初めて売上高100億ドル・営業利益10億ドルの大台を突破し、特に好調だった。グーグルは8月13日に最新AI機能が搭載されたスマホ「ピクセル9」シリーズの発表イベントを開催する。

□ **画像生成AI機能を広告作成に活用**：5月に開発者会議「グーグルI/O」を開催、多くのAI機能が紹介された。商品画像を作成・補正するAIツール「プロダクトスタジオ」は小売業者が出稿する商品広告用に利用でき、好評を得ているとした。生成AIの収益化の手段としてサブスクリプション料金値上げ以外にも、AIツール活用による広告出稿数の増加も模索する。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	170.29 ( 07/30 )
52週高値(日付)	191.75 ( 24/07/10 )
52週安値(日付)	120.21 ( 23/10/27 )
時価総額	2兆1,057億ドル 321兆6906億円
株価変化率(%)	12.4 (過去6ヶ月間) 28.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	24.0 (倍)
株価売上高比率	6.5 (倍)
PBR	7.0 (倍)
税前提当利回り(%)	0.47 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	30.9 (%)
株式ベータ	1.17 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00
四半期業績								
2023/Q2	74,604	—	21,838	—	18,368	—	1.44	0.00
2024/Q2	84,742	14	27,425	26	23,619	29	1.89	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

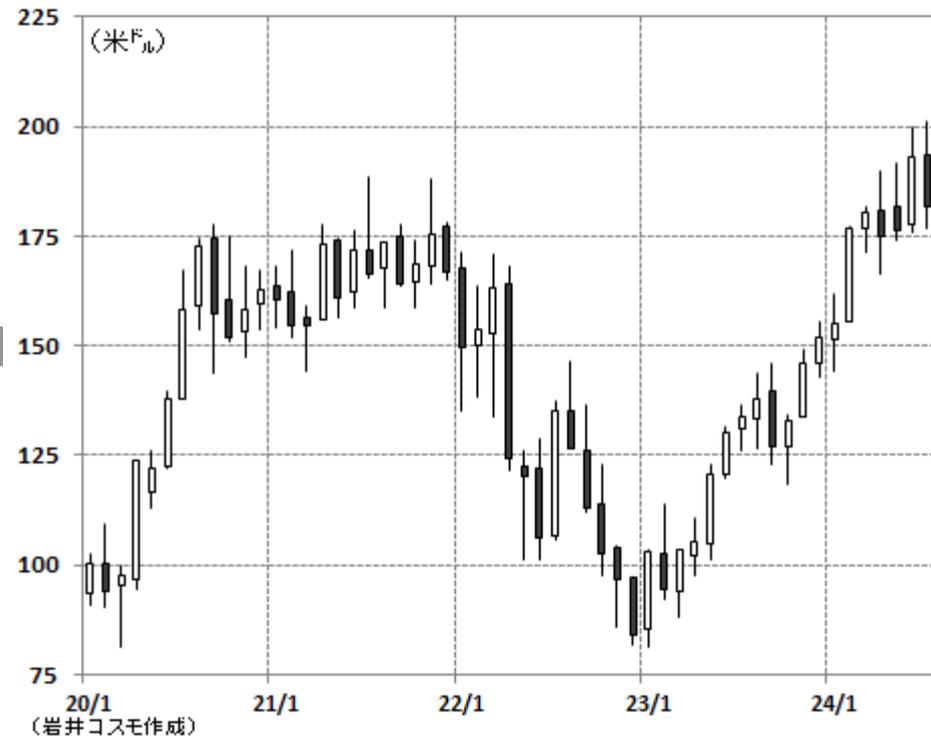
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントンシアトル。2024年2月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **リストラ・AWS加速・輸送効率改善**: 1-3月決算は前年同期比3.3倍の最終増益の着地。引き続き人員削減による経費抑制に加えて配送効率の改善、海外事業の営業黒字転換も寄与。売上内訳ではオンライン小売・直販が同7%伸びたほか、広告が同24%増と好調維持。クラウドのAWSは同17%増と前四半期から伸びが再加速、企業の生成AIの利用拡大はクラウド基盤のAWSの需要を高めているとした。

□ **中国から直送でディスカウント販売を計画か**: 競合する中国のTemuやSHEINと同様に、アマゾンが中国から商品を直接配送する形式でディスカウント販売する計画があると報じられた。大量の広告戦略と低価格を武器に衣類・雑貨販売で隆盛するライバル2社に対抗する模様。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	181.71 ( 07/30 )
52週高値(日付)	201.2 ( 24/07/08 )
52週安値(日付)	118.35 ( 23/10/26 )
時価総額	1兆8,910億ドル 288兆8863億円
株価変化率(%)	14.3 (過去6ヶ月間) 37.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	49.5 (倍)
株価売上高比率	3.2 (倍)
PBR	8.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	20.3 (%)
株式ベータ	1.23 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00
四半期業績								
2023/Q1	127,358	—	4,774	—	3,172	—	0.31	0.00
2024/Q1	143,313	13	15,307	3.2倍	10,431	3.3倍	0.98	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

メタ・プラットフォームズ(META)

約40億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

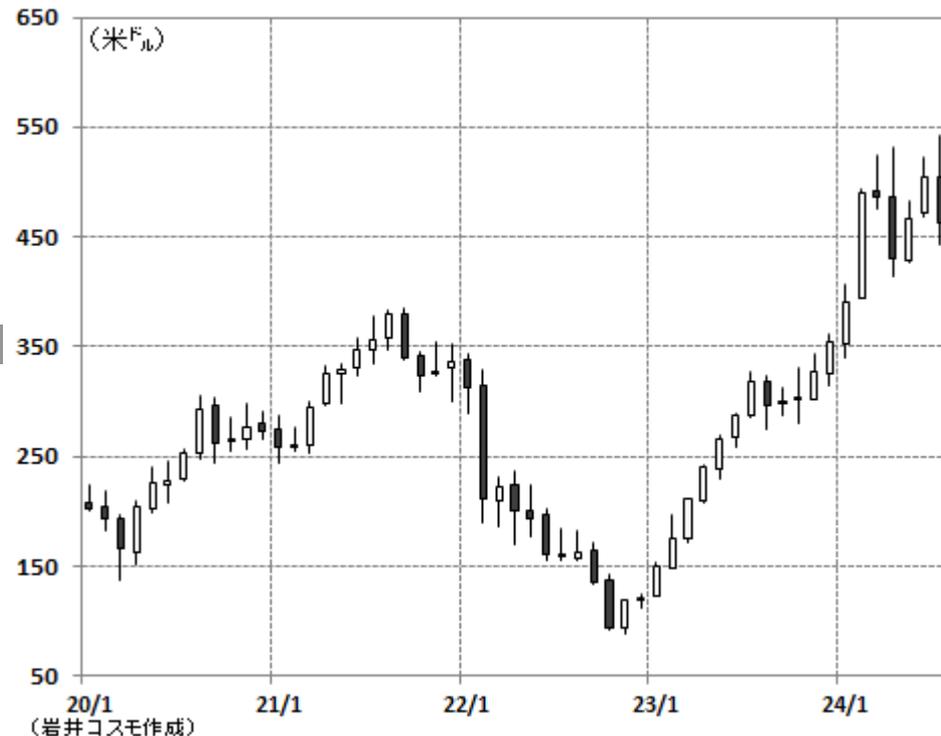
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動、インスタグラムなども含む)は全世界で39.8億人(24年1-3月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。21年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約69,329人(24年3月末時点)。

注目ポイント

□ **売上再加速も・費用増見込みを示唆**: 1-3月期の前年同期比・増収率が+27%と短編動画広告の収益改善等の新タイプの広告がけん引する形で再加速した。他方、野心的なAI研究と製品開発をサポートするために、今期設備投資額を従来300億-370億ドルから350億-400億ドルへ増額修正、来期も増加する見通しを示した。

□ **広告主向け生成AIツールを拡充**: 5月7日に広告主向けの広告自動作成ツール(試作版・無料)を発表、自社の大規模言語モデル「ラマ3」を搭載、提供する写真で別の画像が生成されるとした。メタの広告主の大半は中小企業で広告作成のコスト削減に貢献できるとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	463.19 ( 07/30 )
52週高値(日付)	542.79 ( 24/07/08 )
52週安値(日付)	274.39 ( 23/08/18 )
時価総額	11,750億ドル 179兆5106億円
株価変化率(%)	15.8 (過去6ヶ月間) 42.3 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	24.0 (倍)
株価売上高比率	8.3 (倍)
PBR	7.9 (倍)
税前提当利回り(%)	0.43 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.4 (%)
株式ベータ	1.31 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00
四半期業績								
2023/Q1	28,645	—	7,227	—	5,709	—	2.20	0.00
2024/Q1	36,455	27	13,818	91	12,369	117	4.71	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー最大手

会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メーカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□ **予想外の増収決算も利益は市場予想下振れ**: 4-6月期業績は蓄電池等のエネルギー事業やサービス収入が伸び、前年同期比7%減収の自動車事業の不振を補った。一方、1株利益は市場予想に4四半期連続で下振れた。EVは生産調整の後、7-9月期に再び増産に転じるが、年間納車台数は前年より大きく減る見込みとした。

□ **ロボタクシー構想、人型ロボット**: 8月8日に予定だった自動運転タクシーに関するイベントは10月10日に延期。技術面と当局承認のハードルを指摘、導入時期は不透明とした。人型ロボット「オプティマス」は既に自社工場で作業を手伝い、2026年の量産化・外部販売を計画する。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	222.62 ( 07/30 )
52週高値(日付)	278.97 ( 23/09/15 )
52週安値(日付)	138.82 ( 24/04/22 )
時価総額	7,112億 <sup>ドル</sup> 108兆6486億円
株価変化率(%)	16.2 (過去6ヶ月間) -16.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	111.1 (倍)
株価売上高比率	7.4 (倍)
PBR	10.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	— ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	21.1 (%)
株式ベータ	1.57 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00
四半期業績								
2023/Q2	24,927	—	2,399	—	2,703	—	0.78	0.00
2024/Q2	25,500	2	1,605	-33	1,478	-45	0.42	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業、肥満症薬やアルツハイマー型認知症治療薬に注目高まる

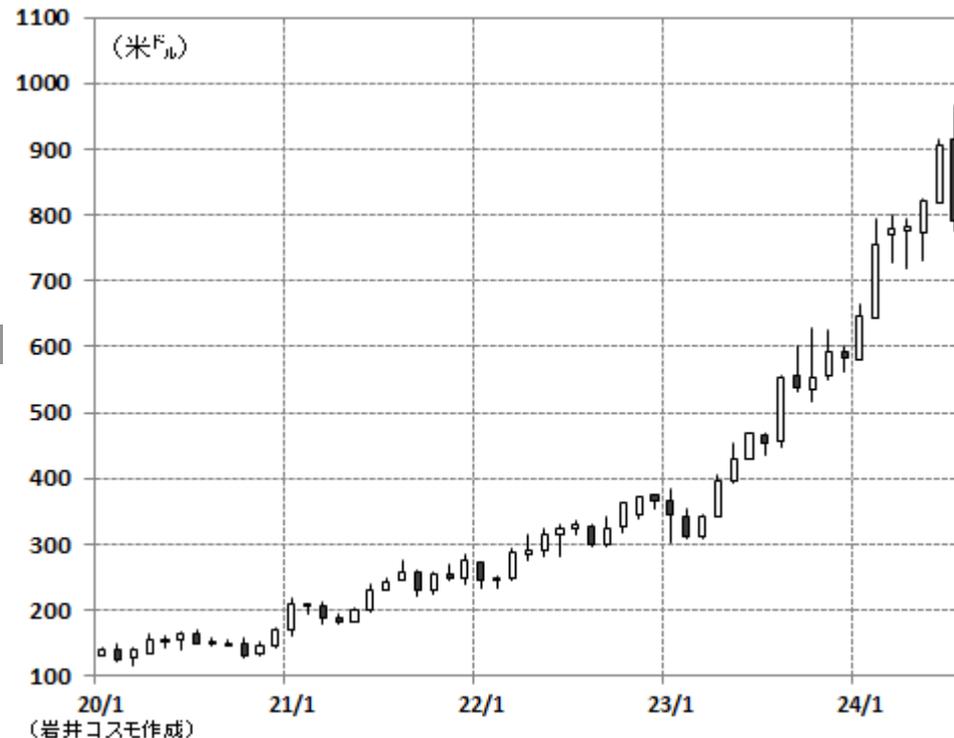
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコロジーを買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリヴェイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **肥満症薬で脚光、新薬開発も充実**: 足下業績は2型糖尿病治療薬「マンジャロ」と同成分の肥満症治療薬「ゼプハウンド」の売上をけん引。両薬は「GLP-1/GIP受容体作動薬」で食欲抑制効果があり、肥満症薬市場の急成長の一翼を担う。「ゼプハウンド」の治療では睡眠時無呼吸症改善の良好な結果が得られた。肥満症治療薬では注射剤の「レタルトルド」と経口タイプの「オルフォルクグリプロン」も開発中。

□ **他社薬と減量効果比較**: 米ヘルスケアシステムデータから得られる「ゼプハウンド」とホの経口薬「リベルサス」の成人肥満症の減量効果比較は「ゼプハウンド」に優位性有りとして7月に著名医学雑誌で示された。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	790.21 ( 07/30 )
52週高値(日付)	966 ( 24/07/15 )
52週安値(日付)	446.95 ( 23/08/04 )
時価総額	7,510億ドル 114兆7333億円
株価変化率(%)	22.5 (過去6ヶ月間) 72.4 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	76.2 (倍)
株価売上高比率	19.8 (倍)
PBR	58.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.66 (直近年率)
配当成長率(%)	15.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	51.1 (%)
株式ベータ	0.64 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92
2023/12	34,124	20	6,555	-4	5,240	-16	5.80	4.52
四半期業績								
2023/Q1	6,960	—	1,530	—	1,345	—	1.49	1.13
2024/Q1	8,768	26	2,536	66	2,243	67	2.48	1.30

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

NYダウ採用のバイオ医薬品メーカー。肥満症治療薬「マリタイド」が注目集める

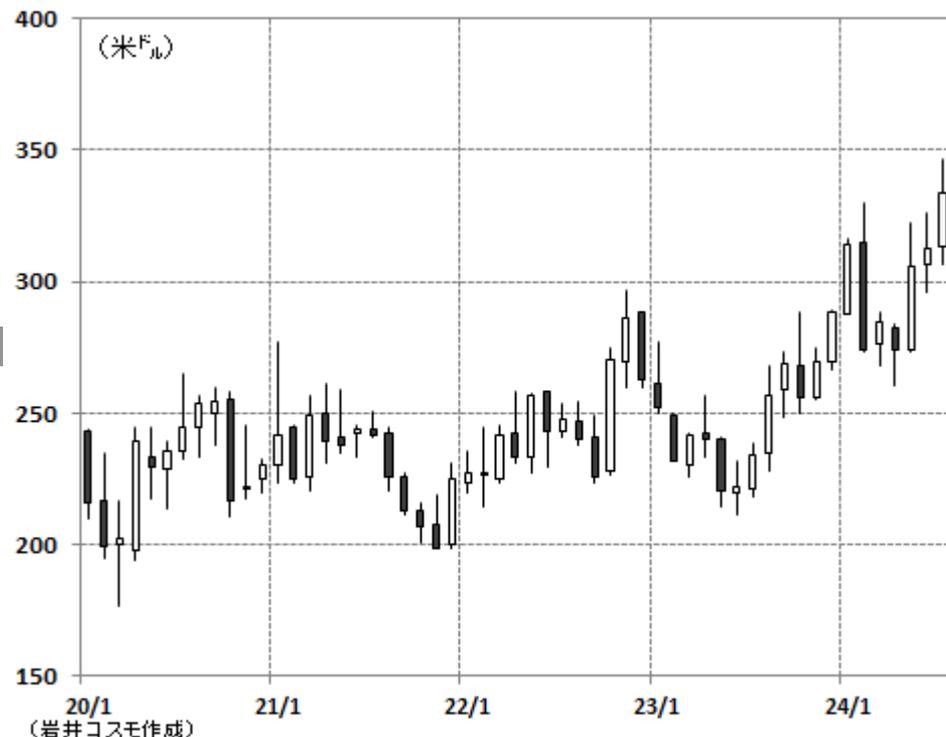
会社概要

米バイオ医薬品大手。重症向けの治療薬の発見/開発/製造/販売に従事する。遺伝子組み換えや細胞培養などのバイオ技術を用い、大型新薬を次々と開発した。主として難病(がん、腎臓病、関節リウマチ、骨疾患など)の治療薬や治療方法を開発する。1980年に創業。本社はカリフォルニア州サウザン・オクス。※2020年8月にダウ工業株30種平均採用銘柄に採用された。

注目ポイント

□ **M&Aで製品拡充**: 2019年、同業セルジーンから乾癬治療薬「オテスラ」事業を取得したほか、22年10月に血管炎薬を手掛けるケモセントリックス社を37億ドルで傘下に収めた。また23年10月に希少免疫疾患薬を手掛けるホライゾン・セラピューティクス社を約278億ドルで買収するなどM&Aを通じて製品ポートフォリオを拡充している。

□ **肥満症治療薬「マリタイド」**: 開発初期段階の2つの肥満症薬候補を有する。主要な注射減量薬候補「マリタイド」の中間段階試験結果を今年遅くに発表予定。月1回の注射で減量効果が見込め、服用中止した際の体重のリバウンドが起きにくい薬の開発を目指している。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	333.28 ( 07/30 )
52週高値(日付)	346.7 ( 24/07/25 )
52週安値(日付)	228.275 ( 23/08/03 )
時価総額	1,788億ドル 27兆3,127億円
株価変化率(%)	5.9 (過去6ヶ月間) 41.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	33.3 (倍)
株価売上高比率	6.0 (倍)
PBR	35.6 (倍)
税前配当利回り(%)	2.70 (直近年率)
配当成長率(%)	7.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	72.6 (%)
株式ベータ	0.65 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	26,323	1	9,566	25	6,552	11	12.11	7.95
2023/12	28,190	7	7,897	-17	6,717	3	12.49	8.64

四半期業績

2023/Q1	6,105	—	1,921	—	2,841	—	5.28	2.13
2024/Q1	7,447	22	991	-48	-113	赤転	-0.21	2.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトバンクG傘下の半導体設計技術会社、スマホ以外の市場でシェア拡大

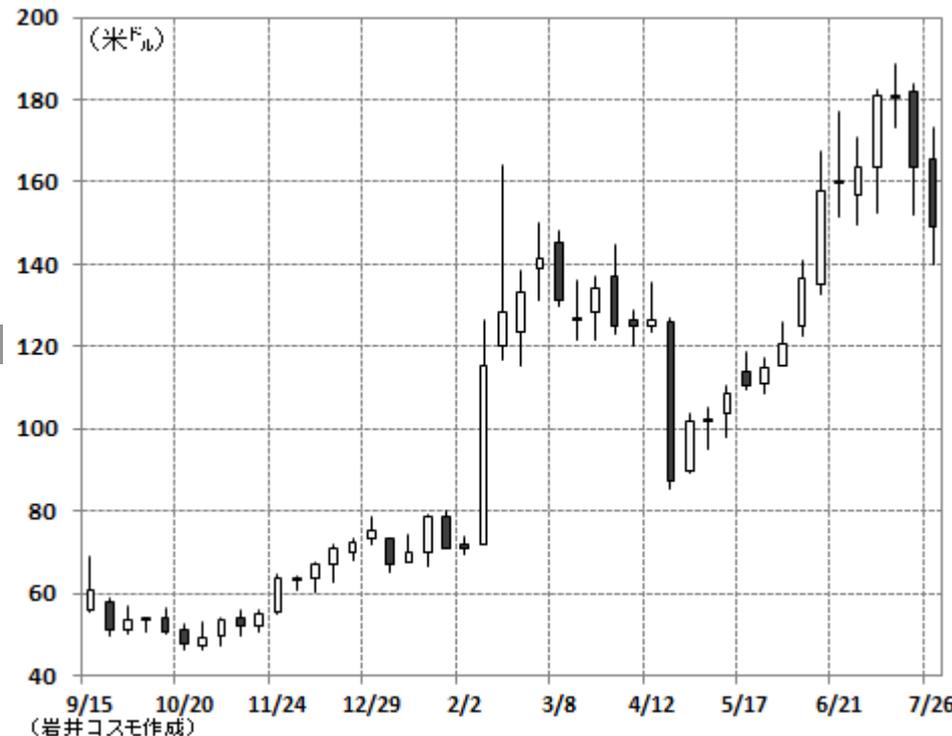
会社概要

ソフトバンク傘下の英半導体設計大手で半導体製造は行わず、低消費電力型プロセッサの設計技術を世界中の半導体メカ等にライセンス提供。パソコン、スマホ、データセンター、自動車、ネットワーク機器等様々な各種半導体に同社設計の回路が使用されている。主要顧客はアップル、アマゾン、エヌビディア等。創業は1990年、2016年にソフトバンクGが同社を買収(現在9割保有)、2023年9月にナスダック市場に再上場した。

注目ポイント

□**省電力半導体設計に強み**：プロセッサの電力効率の高さが強みで自動車やサーバ/クラウド/IoT向けでも採用が拡大中。スマホ向けCPUで同社22年の市場シェアは99%とほぼ独占、クラウドデータ向けでも市場シェアは上昇傾向(20年:7.2%→22年:10.1%)で特にアマゾンやエヌビディア向けで伸ばしている。

□**最新の設計仕様ほど使用料高く**：AI(人工知能)の演算処理など高性能化に伴い、アームが定めた1個の半導体製造に係る設計仕様(アーキテクチャ)の利用料も上昇。同社では今期・増収率を+18~27%とし、また来26・翌27年度の2割増収が可能との見方を示した。



株価チャート(上場来・週足)

株価データ	
株価(米ドル)	132.96 ( 07/30 )
52週高値(日付)	188.74 ( 24/07/09 )
52週安値(日付)	46.51 ( 23/10/20 )
時価総額	1,393億 <sup>ドル</sup> 21兆2,839億円
株価変化率(%)	84.7 (過去6ヶ月間) — (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	406.1 (倍)
株価売上高比率	42.3 (倍)
PBR	26.1 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	6.5 (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/03	2,679	-1	671	6	524	-5	0.51	0.00
2024/03	3,233	21	111	-83	306	-42	0.29	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q4	633	—	-50	—	3	—	0.00	0.00
2024/Q4	928	47	22	黒転	224	75倍	0.21	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

世界最大の半導体受託製造企業、先端半導体に強く、AI向けで高いシェア

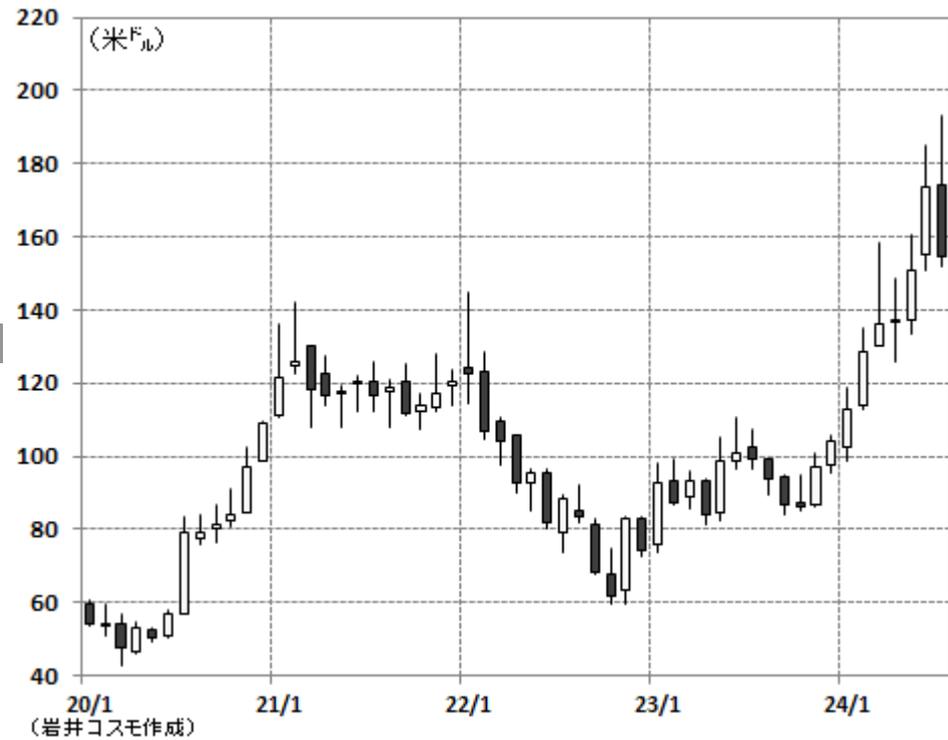
会社概要

顧客の製品製造を受託する、専門ファウンドリ・ビジネスの先駆企業。TSMCブランドでの設計/製造/販売を一切せず、顧客との競争を排除。世界最大の半導体製造ファウンドリとして2023年には528の顧客企業を対象に11,895個の製品を製造。製造する半導体はコンピュータ/通信/産業向けと多岐に渡り、あらゆる場面で使用される。台湾・ニューヨーク市場に重複上場。毎月原則10日に前月売上を発表。

注目ポイント

□ **先端半導体で9割のシェア**：主要顧客にアップルやエヌビディア、クアルコム、AMD、ブロードコムなど世界的大企業を抱え、最大顧客のアップルは全売上高の2割程を占めると見られる。顧客企業はスマホやサーバー等に使用される先端半導体の製造を委託。ファウンドリのシェアで5割超、AI等に使用される先端半導体でシェア9割を誇る。

□ **台湾・日本・米国・ドイツに半導体工場を建設**：各国政府が半導体を重要産業として補助金等で支援体制を取る中、同社は台湾の先端品工場を含む、日本・熊本、米アリゾナ、独ドレスデンに新工場を建設をする計画。熊本工場は2月に開所、年末量産開始を予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	154.54 ( 07/30 )
52週高値(日付)	193.4 ( 24/07/11 )
52週安値(日付)	84.02 ( 23/09/26 )
時価総額	8,016億ドル 122兆4538億円
株価変化率(%)	33.2 (過去6ヶ月間) 53.2 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	28.5 (倍)
株価売上高比率	10.8 (倍)
PBR	6.9 (倍)
税前配当利回り(%)	1.59 (直近年率)
配当成長率(%)	14.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	26.4 (%)
株式ベータ	1.19 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	1株利益 (台湾ドル)	配当 (台湾ドル)
2022/12	2,263,891	—	1,121,279	—	992,923	—	191.46	55.00
2023/12	2,161,736	-5	921,466	-18	851,740	-18	164.24	65.00
四半期業績								
2023/Q2	480,841	—	201,958	—	181,799	—	35.06	13.75
2024/Q2	673,510	40	286,556	42	247,845	36	47.79	17.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

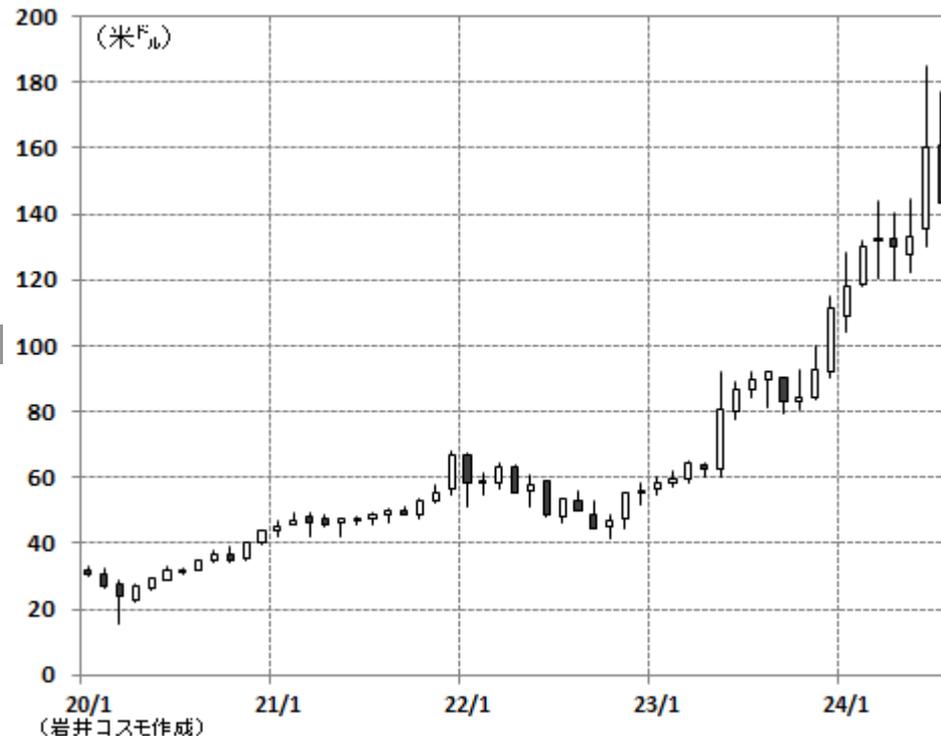
会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

□ **カスタム半導体等のAI半導体を供給**: 同社は巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路)を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバ同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給。データセンター投資活発化を追い風に会社側は、これらのAI半導体の24年10月期の売上高は110億ドルを見込んでいる。

□ **買収企業をてこ入れ**: 仮想化ソフト世界最大手のVMウェアを23年11月に取得、6月の前回決算では取得後の収益性は低下したものの、完全サブスク化を進め、収益性を回復軌道に乗せると言及した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	143.52 ( 07/30 )
52週高値(日付)	185.162 ( 24/06/18 )
52週安値(日付)	79.54 ( 23/09/21 )
時価総額	6,681億ドル 1,02兆0,609億円
株価変化率(%)	18.8 (過去6ヶ月間) 59.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	54.5 (倍)
株価売上高比率	14.7 (倍)
PBR	9.5 (倍)
税前配当利回り(%)	1.46 (直近年率)
配当成長率(%)	13.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.3 (%)
株式ベータ	1.38 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/10	33,203	21	14,225	67	11,223	74	26.53	16.40
2023/10	35,819	8	16,207	14	14,082	25	32.98	18.40

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q2	8,733	—	4,008	—	3,481	—	8.15	4.60
2024/Q2	12,487	43	2,965	-26	2,121	-39	4.42	5.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

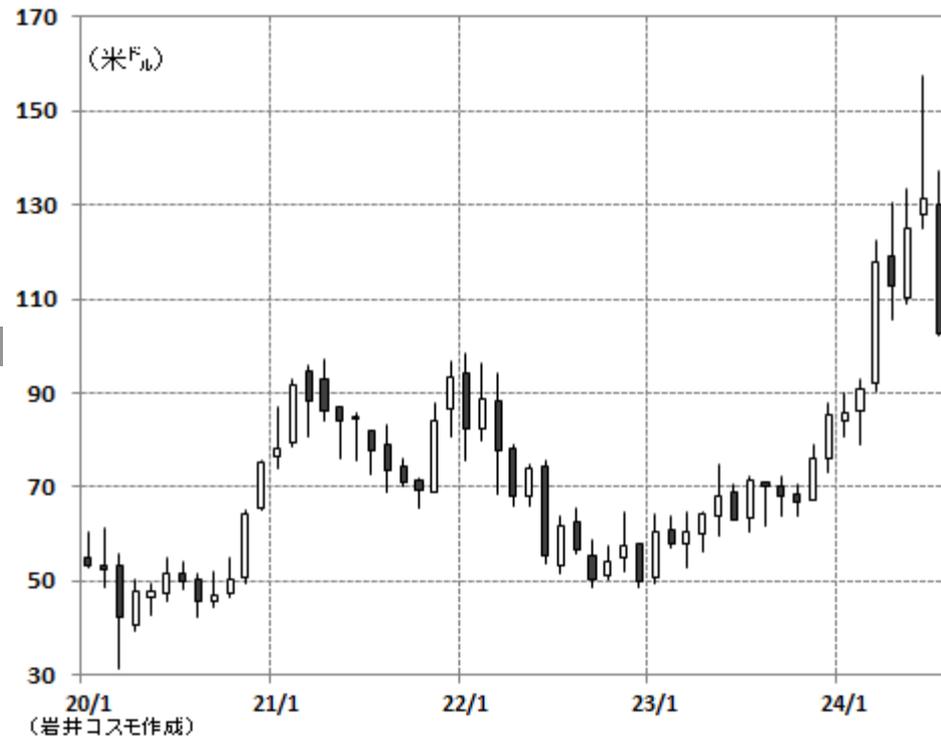
米半導体メモリ大手、AI普及やクラウド化を背景に新分野の需要が拡大

会社概要

1978年設立の半導体メモリ製造大手。DRAM分野では2013年に日本のエルピーダメモリ、16年に台湾・華亜科技を買収。韓国サムスン、SKハイニックスに次ぐ業界3位に位置(22年市場シェア)。製品別売上構成比(前期)はDRAMが71%、NANDフラッシュ27%、その他2%。DRAMは省電力型の半導体メモリ。NANDフラッシュは電気を切っても記憶内容が消去されない特徴を持ち、単価はDRAMより高い。

注目ポイント

- **超高速メモリを量産開始、エヌビディアに納入**：2月に超高速・高性能のHBM(広帯域幅メモリ)の量産化を開始、エヌビディアのAI用GPUと共に使用され、25年まで注文が埋まり、価格契約も大半が交渉済みの状況。25年のHBMの市場シェア約25%(現1割)を目指す。
- **2四半期連続黒字**：メモリ市況はコロナ特需の反動から需給バランスが崩れ価格低迷したが、生産調整の後、23年後半に価格が回復。24年3-5月期まで2四半期連続で黒字を達成。省エネ性能に優れた「HBM3E」は1億ドル超を売り上げた。会社側は汎用製品の需要回復期待とHBMの増産対応で25年度の過去最高の売上を見込む。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	102.56 ( 07/30 )
52週高値(日付)	157.52 ( 24/06/18 )
52週安値(日付)	61.785 ( 23/08/18 )
時価総額	1,137億ドル 17兆3,734億円
株価変化率(%)	19.0 (過去6ヶ月間) 44.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	5.3 (倍)
PBR	2.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.45 ( 直近年率 )
配当成長率(%)	0.0 ( 過去1年間 )
株主資本利益率(ROE)	-3.4 (%)
株式ベータ	1.30 ( 対S&P500 )

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/08	30,758	11	9,702	54	8,687	48	7.75	0.430
2023/08	15,540	-49	-5,745	赤転	-5,833	赤転	-5.34	0.460
四半期業績								
2023/Q3	3,752	—	-1,761	—	-1,896	—	-1.73	0.115
2024/Q3	6,811	82	719	黒転	332	黒転	0.30	0.115

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

携帯電話向け半導体最大手、AIパソコン搭載のCPUで脚光

会社概要

移動体通信技術の世界最大手。携帯端末で用いられるCDMA方式携帯電話の中核特許を多数保有。自社製半導体販売とライセンス供与先メーカーから得る特許料収入が収益の柱。代表製品はスマホの多機能半導体「スナップドラゴン」。22年度から多角化路線を明確化、携帯電話を軸にパソコン、IoTや自動車向け等を強化して多様化を推し進めている。従業員数は約50,000人(23年9月時点)。

注目ポイント

□ **AIパソコンのCPUで脚光**: AI計算処理の一部をパソコン(PC)で行う新型AIパソコンをマイクロソフトやデルなど各社が相次ぎ投入、ネット非接続でリアルタイム翻訳等が特徴的機能である。CPUには「スナップドラゴンXエリート」等が搭載され、インテルやアップル製半導体を上回る性能の高さが話題となり、PC向け半導体市場シェア獲得の期待が高まる。

□ **スマホ市場の回復期待も追い風要因**: 5月1日発表の1-3月期決算では主力の携帯電話向け半導体売上が前年同期比1%増にとどまったものの、中国スマホメーカーへの今上期売上が同40%増加。自社製品競争力の高さと需要回復を反映しているとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	166.94 ( 07/30 )
52週高値(日付)	230.63 ( 24/06/18 )
52週安値(日付)	104.35 ( 23/10/26 )
時価総額	1,863億 <sup>ドル</sup> 28兆4,618億円
株価変化率(%)	14.4 (過去6ヶ月間) 28.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	22.1 (倍)
株価売上高比率	5.1 (倍)
PBR	7.6 (倍)
税前配当利回り(%)	2.04 (直近年率)
配当成長率(%)	6.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	38.0 (%)
株式ベータ	1.48 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	1株利益 ( <sup>ドル</sup> )	配当 ( <sup>ドル</sup> )
2022/09	44,200	32	15,860	62	12,936	43	11.37	2.86
2023/09	35,820	-19	7,788	-51	7,232	-44	6.42	3.10

四半期業績

2023/Q2	9,275	—	2,090	—	1,704	—	1.52	0.75
2024/Q2	9,389	1	2,340	12	2,326	37	2.06	0.80

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

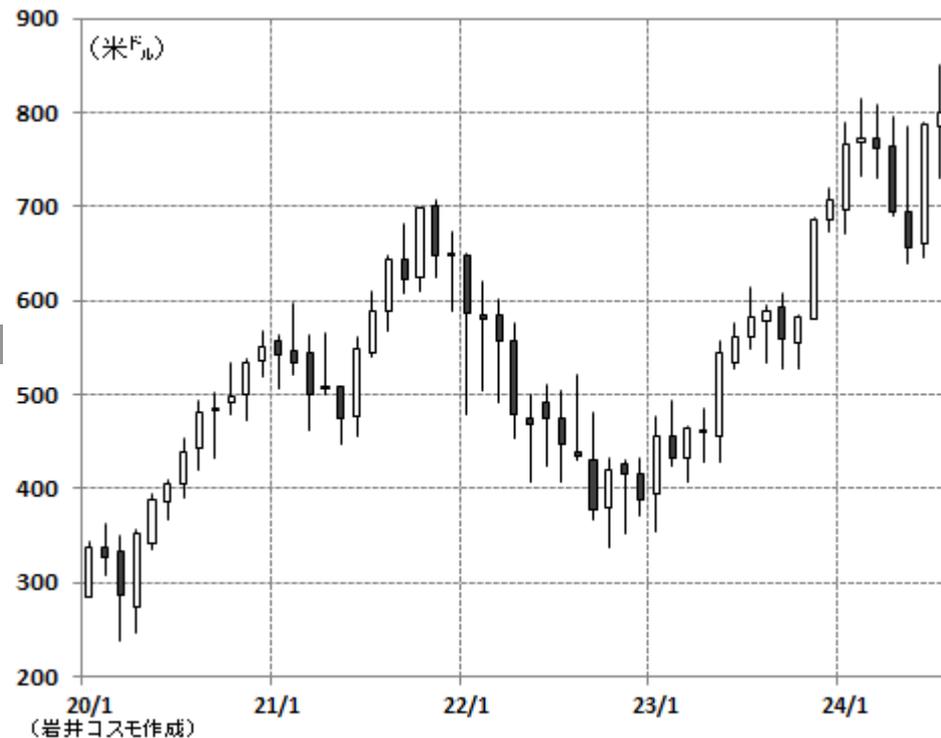
会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、顧客数は8,100社超。地域別売上(23年度)は北米64%、欧州等26%、アジア/太平洋が11%。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は23,362名(24年3月末)。2019年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する業務自動化クラウド企業**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、経費節減と社内業務の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **生成AI製品「ナウアシスト」が急成長**：昨年投入されたAI製品「ナウアシスト」の新規年間契約額は24年4-6月期に前四半期比2倍と急成長。導入済みの企業ではIT相談や顧客対応窓口で過去の蓄積した内容を踏まえAI機能が自動返答し、労働時間が短縮化したという。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	798.8 ( 07/30 )
52週高値(日付)	850 ( 24/07/25 )
52週安値(日付)	527.41 ( 23/10/25 )
時価総額	1,646億 <sup>ドル</sup> 25兆1,387億円
株価変化率(%)	1.7 (過去6ヶ月間) 40.3 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	137.8 (倍)
株価売上高比率	16.5 (倍)
PBR	19.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	14.7 (%)
株式ベータ	1.54 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	営業利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	当期利益 (百万 <sup>ドル</sup> )	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	7,245	23	355	38	325	41	1.60	0.00
2023/12	8,971	24	762	115	1,731	5.3倍	8.42	0.00
四半期業績								
2023/Q2	2,150	—	117	—	1,044	—	5.08	0.00
2024/Q2	2,627	22	240	105	262	-75	1.26	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

IT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウドやAI分野で収益基盤を再構築

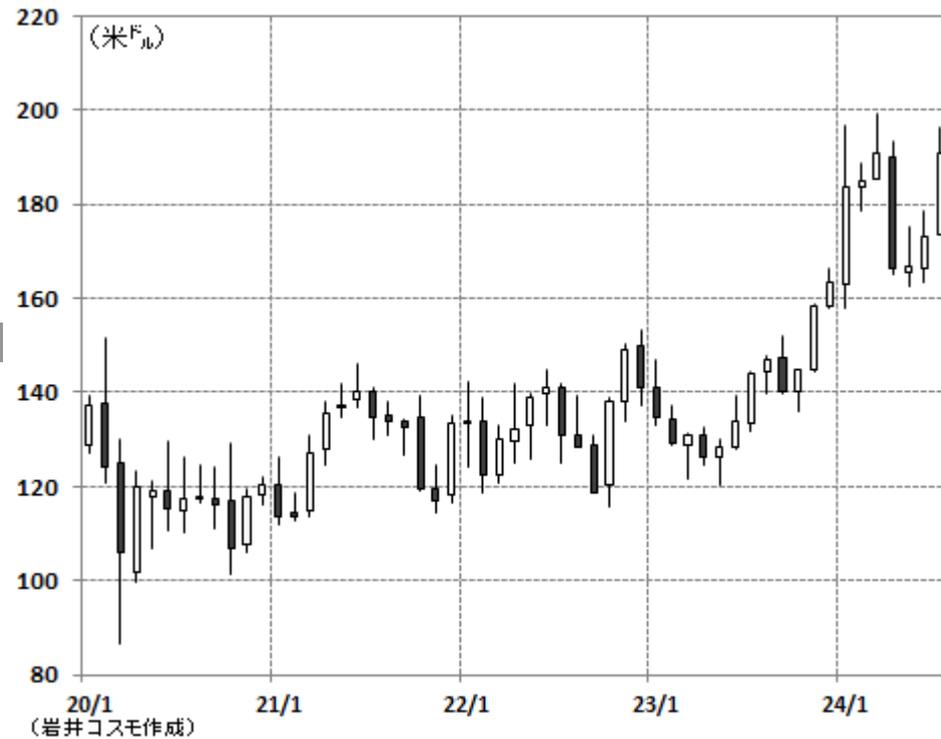
会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許の取得件数の年間ランキングで上位の常連組。1960-70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだものの、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□**ハイブリッドクラウドとAIを強化**：2019年にオープンソースソフト大手のレッドハットを買収、21年11月にはITインフラサービス事業を分社化、オンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型の「ハイブリッドクラウド」とAI(人工知能)等の分野に経営資源のシフトを図った。日本の次世代半導体量産化を目指す、ラピダスにはIBMが半導体の技術供与している。

□**M&Aを通じてクラウド・サービスを強化**：IBMはクラウドインフラを管理するソフトウェアを手掛けるハシコブを64億ドルで4月に買収すると発表、年内取得完了を見込む。複雑化したクラウド環境に対応してコンサルから運用等まで包括的なクラウドサービスを提供する狙いがある。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	191.04 ( 07/30 )
52週高値(日付)	199.18 ( 24/03/12 )
52週安値(日付)	135.87 ( 23/10/23 )
時価総額	1,760億ドル 26兆8,839億円
株価変化率(%)	1.7 (過去6ヶ月間) 33.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	20.6 (倍)
株価売上高比率	2.8 (倍)
PBR	7.3 (倍)
税前配当利回り(%)	3.50 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	36.5 (%)
株式ベータ	0.77 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	60,530	6	1,156	-76	1,639	-71	1.80	6.59
2023/12	61,860	2	8,690	7.5倍	7,502	4.6倍	8.14	6.63

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	15,475	—	2,000	—	1,583	—	1.72	1.66
2024/Q2	15,770	2	2,219	11	1,834	16	1.96	1.67

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手、広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年6月末時点の会員数は全世界で約2.78億人。

注目ポイント

□ **広告販売強化**: 5月半ばに広告付きプランの会員数が4,000万人に達したことを公表、4-6月期は提供地域の新規契約の約半分を占めた。同社は広告配信の提携先にマイクロソフトを選択したが、今後トレードデスクやグーグルも加わる。25年末までに自社開発した広告配信技術を実装し広告主に直接、宣伝効果の測定を提供する予定。

□ **アカウント共有の厳格対処がユーザ数の増加要因に**: ネットフリックスでは1億人程度が料金を支払わずに同社のアカウントを利用していると推定、他人のアカウントを共有している視聴者に厳しく対応する措置を各地で積極化。上記措置と広告付きプラン効果で、4-6月期の会員純増数は805万人と1-3月期の933万人に続き高水準を維持。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	622.58 ( 07/30 )
52週高値(日付)	697.42 ( 24/07/05 )
52週安値(日付)	344.73 ( 23/10/18 )
時価総額	2,672億ドル 40兆8,185億円
株価変化率(%)	10.6 (過去6ヶ月間) 46.2 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	39.4 (倍)
株価売上高比率	7.5 (倍)
PBR	12.1 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	31.6 (%)
株式ベータ	1.30 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	31,616	6	5,633	-9	4,492	-12	9.95	0.00
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	8,187	—	1,827	—	1,488	—	3.29	0.00
2024/Q2	9,559	17	2,603	42	2,147	44	4.88	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## 株式投資に関するご留意事項

### ◆手数料等について

#### ■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。  
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

#### ■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

#### ■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

### ◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前  
交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。